

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B0303		事務事業名			一般事務事業出初式用機材借上料 一般事務事業出初式訓練塔設営委託料			事業期間			昭和63年度以前		～		令和8年度以降				
実施計画事業																					
実施計画事業以外の事業		○		担当部			消防本部			担当課・担当係			消防総務課								
事業の概要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編		基本 施策	3	展開 方向	3	事業・予算区分		一般事業		款	9	項	1	目	1	大	2	中	1
	根拠法令 ・個別計画									対象 (何・誰を対象に)		消防団員を含む消防関係者、小牧市民									
	目的 (何のために)		市民の消防に対する認識と信頼を一層深め災害への関心を高めるとともに、防火思想の普及及び市民生活の安定、福祉の増進に寄与することを目的とした消防出初式に消防団員も参加する事で消防団員の技術及びモチベーションの向上が市民の生命、身体及び財産を守ることができるまちづくりに繋がり、ひいては市民全体への利益に繋がる。							内容 (どのような方法で)		消防出初式は、消防本部・消防団を含む消防関係者が一堂に会し、観閲を受けることによって士気高揚を図るとともに、消防の雄姿を幅広く市民に披露することを目的として開催するもの。 消防関係者の分列行進、消防功労者の表彰、救助隊の演練、消防車からの一斉放水などが行われる。									

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	1,020	861	950	897	
				国・県支出金		0	0	0	0	
				その他		0	0	0	0	
			計(A)			1,020	861	950	897	
			対前年比			%	—	84.41%	110.34%	94.42%
		予算額		千円	1,589	1,410	1,124	1,190	1,845	
	人件費	正規職員		人	0.01	0.01	0.01	0.01		
		正規職員(平均賃金)		千円	75	75	75	75		
		その他職員		人	0	0	0	0		
		その他職員(時給×時間)		千円	0	0	0	0		
		計(B)		千円	75	75	75	75		
	事業費合計(C=A+B)			千円	1,095	936	1,025	972		

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	3	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	消防団員が訓練に参加した延べ人数	人	↗	2439	2,690	—	—	
	展開方向	3	2								
			3								

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	消防出初式は行政でしか行えず、対象である一般事務事業出初式用機材借上料、一般事務事業出初式訓練塔設営委託料については、公費の投入が妥当。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	消防出初式は新年初めに市民に対し消防への認識と災害への関心を高めていただくため、消防本部だけでなく消防団や各事業所の自衛消防隊などが一堂に会し、防火防災に向けての決意を表す姿を披露する大きな事業であり、市民の生命、身体及び財産を守ることができるまちづくりに繋がり、ひいては市民全体への利益に繋がる。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	削減の余地がある	令和6年度から設置する訓練塔の規模を縮小する。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	消防出初式の実施は行政でしか行えないため、外部委託先が存在しない。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	消防団員の技術及びモチベーションの向上が市民の生命、身体及び財産を守ることができるまちづくりに繋がり、ひいては市民全体への利益に繋がる。